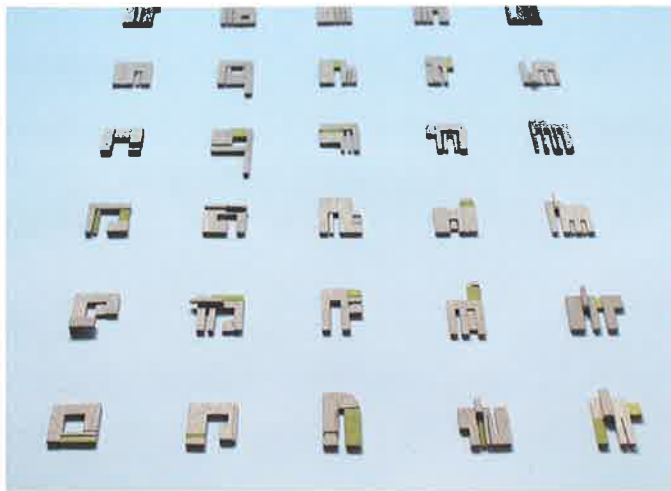




甲田千晴 | KODA Chiharu

1982年岡山県美作市生まれ。2005年岡山県立大学デザイン学部卒業。2008年岡山県新進美術育成「I氏賞」奨励賞受賞。2012年「秀桜基金留学賞」を受け、半年間、西洋やエクアドル等を旅する。2013年秋からドイツ国立カールスルーエ美術大学フリーアーティスト学部在籍。消えていく記憶、強烈な記憶、変化していく記憶。その記憶と自分とのつながりを作品にしています。



《記憶の帯》2014年



佐藤朋子 | SATO Tomoko

1974年倉敷市生まれ。神戸大学大学院修了。2001年より制作活動始める。2008年「第2回秀桜基金留学賞」を受賞しドイツに留学。帰国後、日独の国際交流事業をコーディネートするなど活動の場を広げる。個展・グループ展多数。油絵具の素材としての特性を活かした絵画空間を構築したいと考え、絵画制作に取り組んでいる。



《untitled》2014年



《そこはかかない緑色、そして赤色》
2015年



児玉知己 | KODAMA Tomoki

1982年岡山県倉敷市に生まれる。2005年倉敷芸術科学大学芸術学部卒業。主な展覧会に2010年個展(Johnbull hall/岡山市)、2011年「アートは今・岡山2011—リズムのかたち—」(岡山県)、2013年-2014年「第三回I氏賞受賞作家展—松井えり菜 児玉知己 ふたりは“絵画する”」(岡山県立美術館)。第4回岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞受賞。



《遠との共鳴 — 記憶の波音 —》2004年



島田清徳 | SHIMADA Kiyonori

1990年武蔵野美術大学大学院修了。現在、岡山県立大学デザイン学部准教授。2009年「CULTEX展」(ノルウェー、イギリス、岡山、群馬)、2012年「MINIARTEXTILE展」(イタリア)、2015年「目の目・手の目・心の目展」(岡山県立美術館)。視覚情報だけでなく、身体全体で作品の存在やとりまく気配を感じとりながらその向こう側にある遠い記憶と向き合うための“場”をつくりだしたいと考えています。